

< 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院を受診された患者さんへ >

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自分あるいは御家族の診療情報等を研究目的に利用または

提供されることを希望されない場合は、**2027 年 9 月 1 日**までに下記問い合わせ先までご連絡下さい。解析対象より除外いたします。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会（臨床試験部会）にて審議され学長の許可を得て実施しております。

研究課題名：Senhance®サージカルシステムによる前立腺全摘除術の定型化に関する後方視的検討

研究責任者：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 泌尿器科 関口善吉

① 研究の目的 近年、ロボット支援前立腺全摘除術（**Robot Assisted Radical Prostatectomy: RARP**）が普及する一方、運用コスト増加や人的負担が課題となっています。

Senhance®サージカルシステムは、腹腔鏡操作に近い操作性を維持しつつ、視野安定化・触覚フィードバック・省人化が可能なシステムとして期待されています。

本研究では、安全性を担保した手術手技の定型化（**安定した手技により、いつも同じ質の手術にする**）を図り、その妥当性を評価することを目的とします。

② 研究対象について 2024 年 10 月 1 日から 2025 年 11 月 20 日までに Senhance®サージカルシステムによる根治的前立腺全摘除術を受けられた患者さんが対象になります。

③ 研究実施期間

倫理委員会承認後～2027 年 10 月 1 日まで

④ 抽出項目

電子カルテ及び紙カルテを後方視的に調査し、当該手術を行なった症例について以下のデータを収集します：

年齢・性別・手術時間・出血量・術後入院日数・合併症の有無・病理・最終転帰確認日などの周術期の診療情報について、統計学的に解析します。得られた結果は日本泌尿器内視鏡外科学会などの学会や国内外の論文で公表する予定です。

⑤個人情報等の保護について

- ・ 研究専用の登録番号に置き換えて**コード化**し、個人が特定されない形で管理します。
- ・ 紐づけ表は泌尿器科医局内の鍵付き保管庫で厳重に管理します。
- ・ 個人情報外部に漏洩することはありません。

⑥研究結果の公表について

学会・学術雑誌等で発表予定ですが、個人が特定される情報は一切含みません。

⑦問い合わせ先・相談窓口

聖マリアンナ医科大学病院横浜市西部病院 部署名：泌尿器科

住所：〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1

電話：045-366-1111(代表) 内線番号：8220

担当医師： 関口善吉

対応時間： 9 時-16 時(祝日はのぞく月曜日から金曜日に限ります)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 泌尿器科

研究責任者 泌尿器科 関口善吉

【共同研究機関】 なし